

**「横浜市立病院経営改革計画」
中間案からの変更点一覧**

中間案		最終案		変更理由等
頁	内容	頁	内容	
表紙	横浜市立病院経営改革計画 ～市民に信頼される質の高い医療の提供と健全な経営を目指して～ (中間案) 平成16年11月	表紙	横浜市立病院経営改革計画 ～市民に信頼される質の高い医療の提供と健全な経営を目指して～ 平成17年1月	「(中間案)」の削除等
1 頁下段 5 (1)	...「 病院経営局(仮称) 」を設置します。	1 頁下段 5 (1)	...「 病院経営局 」を設置します。	横浜市病院事業の設置等に関する条例の改正により、病院事業を所管する局の名称が「病院経営局」と定められたため(以下、「病院経営局(仮称)」を「病院経営局」とするものと同じ)
2 頁上段	(4) 病院経営局(仮称)及び... ...局と病院が情報を共有化し効果的に改革を推進していくため、段階的に 局と病院管理部門の一体化 を進めていきます。 (5) 市立病院として、良質な医療を効率的に提供していくため、 市民病院と脳血管医療センターの診療部門等の一体的な運営 を図っていきます。 (6) ...病院経営局(仮称)に、...	2 頁上段	(4) 病院経営局及び... ...局と病院の職員が情報を共有化し、一体的に改革に取り組んでいくため、 局と病院管理部門の業務を段階的に集約し、組織として一体化 を図っていきます。 (5) 市立病院として、良質な医療を効率的に提供していくため、市民病院と脳血管医療センターについて、人材の有効活用や適材適所の人事配置を推進するとともに、相互に医療機能を補完し効率的な病院運営が行えるよう、 両病院の診療部門等の一体的な運営 を図っていきます。 (6) ...病院経営局に、...	「局と病院管理部門の一体化」について、より具体的に記述 「診療部門等の一体的な運営」について、より具体的に記述
2 頁	(なし)	2 頁中段	6 各病院における計画の推進 (1) 各病院においては、この計画の実現に向けて、各実施項目についての具体的な行動計画を定めるとともに、既存の院内委員会での取組や、必要に応じて設置する「課題解決プロジェクト」等での検討・取組を進めていくものとします。 (2) 各職場単位では、職員自らが課題を設定し、改善に取り組む「業務改善運動」などを通じて、経営改善を推進していくものとします。 (3) 病院経営局においては、局全体として取り組むべき事項や、条例・規程や制度・仕組みの変更を要する事項などを中心に、病院との連携・支援体制を敷いていくものとします。	病院各部門において、本計画に示された内容を具体化するにあたっての進め方について記述
2 頁下段 図中	病院経営局(仮称)	3 頁図中	病院経営局	
4 頁下段	脳血管医療センターは... 脳血管医療センターが受け入れることのできる患者は、地域や患者数の点からも限られた範囲とならざるを得ないこと、 脳血管疾患医療の急速な進歩により、手術等の治療方法が変わってきていること、 急性期の脳血管疾患医療は、脳血管疾患と関係の深い心臓・血管系疾患などの医療機能を備えた総合的な病院で行った方が医療の安全管理の点から見てもより望ましいこと、 脳血管疾患による後遺症の機能回復に高い効果があるとされている質の高い回復期リハビリテーションを行える病院が、市内には依然として少ないこと、 市内のより充実した脳血管疾患医療提供体制の構築のためには、市民病院や市立大学病院、地域中核病院など、他の医療機関の持つ資源やマンパワーを有効に活用すべきであること	5 頁下段	脳血管医療センターは... 脳血管医療センターの立地や、早期の診断・治療が重要であること等の脳血管疾患の特性などから、センターが現実を受け入れることのできる患者は、地域や患者数の点からも限られた範囲とならざるを得ず、特に、市の北部方面の住民にとっては、センターを非常に利用しにくい現状があること 画像診断技術の向上により正確な早期診断が可能となり、治療方法の選択等の判断が的確に行えるようになるとともに、血栓溶解法や血管内治療等の進歩により治療成績も向上してきているなど、脳血管疾患医療の急速な進歩がみられること また、疾病構造や治療の考え方の変化等により手術件数が減少するとともに、学会による診療ガイドラインの整備等により医療の標準化が進んでいること 医療の安全管理に関する重要性の認識が高まる中であって、関連各部門を含めた体制の充実が急務であるが、特に、急性期の脳血管疾患医療に関しては、脳血管疾患と関係の深い、心臓・血管系疾患などの医療機能を備えた総合的な病院で行った方が、安全管理上より望ましいと考えられること 脳血管疾患の患者に対して、機能回復やADL(日常生活動作)能力の向上による寝たきりの防止、在宅復帰や社会復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に実施する「回復期リハビリテーション」を行える病院が、市内には依然として少なく、政策的な観点から、より積極的に取り組んでいく必要があるものと考えられること 市内のより充実した脳血管疾患医療提供体制の構築のためには、市民病院や市大センター病院、地域中核病院等、他の医療機関との適切な機能分担と連携を推進し、その資源やマンパワーをより積極的に活用していくことで、全市的な観点から脳血管疾患医療提供体制の充実を図っていくことが必要であること	から の脳血管医療センターを取り巻く状況(医療機能再構築に向けた検討を行う理由)について、それぞれより具体的に記述

中間案		最終案		変更理由等
頁	内容	頁	内容	
4頁下段	こうしたことから...、これまでも増して充実した脳血管疾患医療提供体制を構築していくために、脳血管疾患・リハビリテーション医療に関する外部の専門家等による検討のための会議を設置し、 脳血管医療センターの医療機能再構築に向けた検討 を行います。	6頁上段	こうしたことから...、これまでも増して充実した脳血管疾患医療提供体制を構築していくために、 脳血管医療センターの医療機能再構築に向けた検討 を行うこととします。検討を進めるに当たり、脳血管疾患・リハビリテーション医療に関する外部の専門家等からなる「横浜市立脳血管医療センター医療機能検討会議」を平成16年12月に設置しました。	「横浜市立脳血管医療センター医療機能検討会議」を設置したことによる変更
6頁上段	(図) (図中)子ども医療センター	7頁下段	(図中、連携のイメージを表した「」を大きく表現) (図中)こども医療センター	語句の訂正
9頁上段	今後は、インシデント報告システムの限界を補う新たな報告システム(オカレンス報告)を導入し...	10頁中段	今後は、チーム医療の一層の充実に向けた取組を推進するとともに、インシデント報告システムの限界を補う新たな報告システム(オカレンス報告)を導入し...	安全管理の向上のために必要な基本的な事項として、チーム医療等の充実について補記。
16頁上段	(2) 機動的・効率的な管理運営体制の整備 経営改革を...病院経営局(仮称)を設置し、... 【取組項目】 病院事業管理者のもとに、... 病院経営局(仮称) を設置し、... 病院経営局(仮称)では、局と病院の職員が情報を共有化し、一体的に改革に取り組んでいくため、 局と病院管理部門の一体化 を図ります。また、効率的な組織運営を行うため、 市民病院と脳血管医療センターの診療部門等の一体的な運営 を図るなど、経営改革の進捗状況にあわせて弾力的・段階的に組織・機構の充実を図っていきます。	17頁上段	(2) 機動的・効率的な管理運営体制の整備 経営改革を...病院経営局を設置し、... 【取組項目】 病院事業管理者のもとに、... 病院経営局 を設置し、... 病院経営局では、局と病院の職員が情報を共有化し、一体的に改革に取り組んでいくため、 局と病院管理部門の業務を段階的に集約し、組織として一体化 を図ります。また、市民病院と脳血管医療センターについて、人材の有効活用や適材適所の人事配置を推進するとともに、相互に医療機能を補完し効率的な病院運営が行えるよう、 西病院の診療部門等の一体的な運営 を図るなど、経営改革の進捗状況にあわせて弾力的・段階的に組織・機構を整備していきます。	「局と病院管理部門の一体化」及び「診療部門等の一体的な運営」について、より具体的に記述
(枠中)	病院経営局(仮称)の設置	(枠中)	病院経営局の設置	
19頁下段 (枠中)	人件費比率の逡減 市民病院 56.4% 56.0% 54.9% 54.9% 脳血管医療センター 98.2% 97.1% 93.9% 90.4%	20頁下段 (枠中)	人件費比率の逡減 市民病院 20年度までに54.9% 脳血管医療センター 20年度までに88.3%	平成20年度における全体としての収支目標の達成を最優先とすることとし、年次計画や個別の目標については、状況に応じて弾力的な対応が行えるよう、表記方法を変更
20頁上段	【取組項目】 特別室料や駐車場使用料など診療報酬の対象外となる料金の見直し を行います。見直しに当たっては、国・他都市・近隣の医療機関の動向や市民・患者要望の変化などに迅速かつ適切に対応するため、柔軟な料金設定が可能な工夫を取り入れます。	21頁上段	【取組項目】 特別室料や駐車場使用料など診療報酬の対象外となる料金の見直し を行います。見直しに当たっては、国・他都市・近隣の医療機関の動向や市民・患者要望の変化などに迅速かつ適切に対応するとともに、サービスの向上を図るため、柔軟な料金設定が可能な工夫を取り入れます。また、地域医療機関との適切な機能分担を図るため、非紹介患者初診料加算についても見直しを行います。	使用料・手数料の改定についての検討結果をより具体的に反映
21頁図中	病院経営局(仮称)	22頁図中	病院経営局	
23頁上段	これまで横浜市では、...病院経営局(仮称)では...	24頁上段	これまで横浜市では、...病院経営局では...	
25頁図中	がん治療機能の向上	26頁図中	がん診療機能の向上	語句の訂正
28頁上段	【取組項目】 これまで内科・小児科・外科を...市民病院の資源を生かしながら、交通外傷を含めた外科系救急への積極的対応など、 地域に必要とされる救急医療の充実 を進めます。	29頁上段	【取組項目】 これまで内科・小児科・外科を...施設・設備や体制面の充実などの検討を行ったうえで、外科系救急を含めた適応症例の拡大を積極的に図るなど、 地域に必要とされる救急医療の充実 を進めます。	脳血管医療センターの医療機能再構築に向けた検討等も踏まえ、交通外傷に限らず、急性期の脳血管疾患も含めるなど、充実の方向性に幅を持たせるとともに、施設・設備や体制の充実のための検討についても記述
29頁中段 (枠中)	地域がん診療拠点病院の指定など、がん治療機能の強化	30頁中段 (枠中)	地域がん診療拠点病院の指定など、がん診療機能の強化	語句の訂正
30頁上段	がん検診センターでは、自立した経営に向けて内部効率の改善に努め、 経営の健全化を図る とともに、検診事業については、地域医療機関と同様に市からの委託の考え方をもち実施してまいります。また、ヘリカルCTによる肺がん検診など、先駆的な 新たな検診方法を導入 してまいります。	31頁上段	がん検診センターでは、自立した経営に向けて内部効率の改善に努め、 経営の健全化を図る とともに、一次検診事業については、地域医療機関と同様に市からの委託の考え方をもち実施してまいります。また、市のがん検診事業の範囲外となるセンター独自の検診項目については、適正な受益者負担について見直しを行うとともに、ヘリカルCTによる肺がん検診など、先駆的な 新たな検診方法を導入 してまいります。	一般会計繰入金の見直し及び使用料・手数料の見直しについての検討結果を反映
34頁下段 (2)ア	脳血管医療センターは、... 脳血管医療センターが受け入れることのできる患者は、地域や患者数の点からも限られた範囲とならざるを得ないこと、	35頁下段 (2)ア	脳血管医療センターは、... 脳血管医療センターの立地や、早期の診断・治療が重要であること等の脳血管疾患の特性などから、センターが現実的に受け入れることのできる患者は、地域や患者数の点からも限られた範囲とならざるを得ず、特に、市の北部方面の住民にとっては、センターを非常に利用しにくい現状があること	から の脳血管医療センターを取り巻く状況(医療機能再構築に向けた検討を行う理由)について、それぞれより具体的に記述

中間案		最終案		変更理由等
頁	内容	頁	内容	
	<p>脳血管疾患医療の急速な進歩により、手術等の治療方法が変わってきていること、</p> <p>急性期の脳血管疾患医療は、脳血管疾患と関係の深い心臓・血管系疾患などの医療機能を備えた総合的な病院で行った方が医療の安全管理の点から見てもより望ましいこと、</p> <p>脳血管疾患による後遺症の機能回復に高い効果があるとされている質の高い回復期リハビリテーションを行える病院が、市内には依然として少ないこと、</p> <p>市内のより充実した脳血管疾患医療提供体制の構築のためには、市民病院や市立大学病院、地域中核病院など、他の医療機関の持つ資源やマンパワーを有効に活用すべきであること</p>		<p>画像診断技術の向上により正確な早期診断が可能となり、治療方法の選択等の判断が的確に行えるようになるとともに、血栓溶解法や血管内治療等の進歩により治療成績も向上してきているなど、脳血管疾患医療の急速な進歩がみられること</p> <p>また、疾病構造や治療の考え方の変化等により手術件数が減少するとともに、学会による診療ガイドラインの整備等により医療の標準化が進んでいること</p> <p>医療の安全管理に関する重要性の認識が高まる中において、関連各部門を含めた体制の充実が急務であるが、特に、急性期の脳血管疾患医療に関しては、脳血管疾患と関係の深い、心臓・血管系疾患などの医療機能を備えた総合的な病院で行った方が、安全管理上より望ましいと考えられること</p> <p>脳血管疾患の患者に対して、機能回復やADL（日常生活動作）能力の向上による寝たきりの防止、在宅復帰や社会復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に実施する「回復期リハビリテーション」を行える病院が、市内には依然として少なく、政策的な観点から、より積極的に取り組んでいく必要があるものと考えられること</p> <p>市内のより充実した脳血管疾患医療提供体制の構築のためには、市民病院や市立大学病院、地域中核病院等、他の医療機関との適切な機能分担と連携を推進し、その資源やマンパワーをより積極的に活用していくことで、全市民的な観点から脳血管疾患医療提供体制の充実を図っていくことが必要であること</p>	
35頁図中	手術等の治療方法が変わってきている	36頁図中	脳血管疾患医療の急速な進歩 手術の減少や医療の標準化の進展	本文の表現の変更を反映
35頁下段(7)	【取組項目】 脳血管疾患・リハビリテーション医療に関する外部の専門家等による検討のための会議を設置し、 脳血管医療センターの医療機能再構築に向けた検討 を行います。	37頁上段	【取組項目】 脳血管疾患・リハビリテーション医療に関する外部の専門家等による検討のための会議を設置し、 脳血管医療センターの医療機能再構築に向けた検討 を行うこととし、そのための「横浜市立脳血管医療センター医療機能検討会議」を平成16年12月に設置しました	「横浜市立脳血管医療センター医療機能検討会議」を設置したことによる変更
36頁上段	また、これにより必要とされる場合には、市民病院の医療機能の変更についても、併せて検討を行います。	37頁中段	また、これにより必要とされる場合には、現在センターで採用している段階別患者看護方式の見直し、整形外科分野などの脳血管疾患以外のリハビリテーションの実施や、市民病院の医療機能の変更等についても、併せて検討を行います。	機能変更を行った場合に、脳血管医療センターに関して検討が必要と考えられる事項について、具体的に記述
36頁中段	(イ) リハビリテーションの質の向上 これまでの取組の実績や施設機能を生かしつつ、市民により質の高いリハビリテーション医療を提供していくことは、脳血管医療センターの重要な課題です。 治療効果を上げるためには、毎日、適切なリハビリテーションが行われることが重要であることから、現在は平日にのみ行っている入院患者のリハビリテーションについて、土・日曜、祝日の対応を含めた、より積極的な対応が求められています。	37頁下段	(イ) リハビリテーションの質の向上 これまでの取組の実績や施設機能を生かしつつ、機能回復やADL（日常生活動作）能力の向上による寝たきりの防止、在宅復帰や社会復帰を目的とした充実したリハビリテーションを提供していくことは、脳血管医療センターの重要な役割です。 リハビリテーションの効果を上げるためには、土・日・祝日に関わらず、必要に応じて適切なリハビリテーションが行われることが重要であることから、現在は平日にのみ行っている入院患者のリハビリテーションについて、より積極的な対応が求められています。	「質の高いリハビリテーション」について、より具体的に記述
	【取組項目】 リハビリテーションの効果をより高めることにより、後遺症の軽減と早期社会復帰の一層の促進及び収益の向上を図るため、より密度の高いリハビリテーションを提供するとともに、 土・日曜、祝日を含めた365日のリハビリテーションを実施 します。		【取組項目】 リハビリテーションの効果をより高めることにより、寝たきりの防止や早期社会復帰の一層の促進及び収益の向上を図るため、業務効率の向上等により密度の高いリハビリテーションを提供するとともに、 土・日曜、祝日を含めた365日のリハビリテーションを実施 します。	密度の高いリハビリテーションを実施するための方法等について記述
38頁中段(4)ア	【取組項目】 リハビリテーションの効果をより高めることにより、後遺症の軽減と早期社会復帰の一層の促進及び収益の向上を図るため、より密度の高いリハビリテーションを提供するとともに、 土・日曜、祝日を含めた365日のリハビリテーションを実施 します。	39頁下段	【取組項目】 リハビリテーションの効果をより高めることにより、寝たきりの防止や早期社会復帰の一層の促進及び収益の向上を図るため、業務効率の向上等により密度の高いリハビリテーションを提供するとともに、 土・日曜、祝日を含めた365日のリハビリテーションを実施 します。	密度の高いリハビリテーションを実施するための方法等について記述
40頁中段(枠中)	薬品購入、薬品管理に要する諸費用縮減や保管スペースの有効利用推進等のため、 院外処方の実施を推進 します。	41頁下段(枠中)	薬品購入、薬品管理に要する諸費用縮減や保管スペースの有効利用推進等のため、 院外処方の推進 に取り組みます。	語句の訂正
	院外処方の実施推進		院外処方の推進	語句の訂正

中間案		最終案		変更理由等
頁	内容	頁	内容	
46頁下段	(1) 脳血管医療センター 経営の状況 脳血管医療センターは、...一般に不採算とならざるを得ないと言われている、質の高いリハビリテーションの提供に重点をおいた病院であることなどから、...	48頁下段	(1) 脳血管医療センター 経営の状況 脳血管医療センターは、...一般に不採算とならざるを得ないと言われている、機能回復やADL(日常生活動作)能力の向上による寝たきりの防止、在宅復帰や社会復帰を目的とした充実したリハビリテーションの提供に重点をおいた病院であることなどから、...	「質の高いリハビリテーション」について、より具体的に記述
47頁上段 表中	(市民病院16年度見込) 経常収支 264 繰入金を除く経常収支 2,032 資金収支 607	49頁上段 表中	(市民病院16年度見込) 経常収支 338 繰入金を除く経常収支 1,958 資金収支 594	最新の数値に修正
48頁図中	【見直し後】 がん検診センター運営経費 A 民間医療機関への委託料に準じて繰入れ	50頁図中	【見直し後】 がん検診委託料 A 一次検診は民間医療機関と同様の委託料に変更 がん検診センター運営経費 B 市全体としての事業等に対して繰入れ	一般会計繰入金の見直しについての検討結果を反映
48頁下段	(その他)今後、病院経営局(仮称)が行っていくことになる...一般会計から繰入れを行うことについて検討します。	50頁下段	(その他)今後、病院経営局が行っていくことになる...当面の間、一般会計から繰入れを行うこととします。	一般会計繰入金の見直しについての検討結果を反映
49頁上段	一般会計負担の縮減 市民病院、脳血管医療センター合わせて、約13億円の一般会計負担を縮減します。	51頁上段	一般会計負担の縮減 市民病院、脳血管医療センター合わせて、約15億円の一般会計負担を縮減します。	一般会計繰入金の見直しについての検討結果を反映
49頁図中 上段	【市民病院】見直し後(20年度) がん検診センター運営経費	51頁図中 上段	【市民病院】見直し後(20年度) がん検診センター運営経費 がん検診委託料 一次検診については委託料に変更	一般会計繰入金の見直しについての検討結果を反映
	【市民病院】見直し後(20年度) 一般会計負担=繰入金 総額 20億円		【市民病院】見直し後(20年度) 一般会計負担=繰入金 総額 18億円	
	【市民病院】見直し後(20年度) 一般会計負担縮減額 1.1億円		【市民病院】見直し後(20年度) 一般会計負担縮減額 1.3億円	
52頁上段	病院経営局(仮称)及び...	54頁上段	病院経営局及び...	
53頁上段	6億円を超える一般会計負担の縮減を図りながらも、実質的な収支改善額を示す「繰入金を除く医業収支」において、 <u>ほぼ同額の改善</u> を達成することで	55頁上段	約9億円の一般会計負担の縮減を図りながらも、実質的な収支改善額を示す「繰入金を除く医業収支」において、 <u>約6億円の改善</u> を達成することで	
53頁中段 表中	(表中の数値 別表1)	55頁中段 表中	(表中の数値 別表1)	一般会計繰入金の見直し及び収支目標についての再検討結果を反映
53頁下段	(なし)	55頁下段	平成20年度の医業収支は地方公営企業法の全部適用以降に発生する本部経費を除く。 平成20年度の繰入金を除く医業収支は、本部経費及びがん検診委託料を除く。	16年度まで一般会計で負担していた本部経費を除いて算出したものであることを表記 実質的な収支改善額を算出するために、16年度まで一般会計で負担していた本部経費とがん検診委託料を除いて算出したものであることを表記
54頁上段	<u>約11億円の収支改善</u>	56頁上段	<u>約12億円の収支改善</u>	一般会計繰入金の見直し及び収支目標についての再検討結果を反映
54頁中段 表中	(表中の数値 別表2)	56頁中段 表中	(表中の数値 別表2)	一般会計繰入金の見直し及び収支目標についての再検討結果を反映
54頁下段	(なし)	56頁下段	平成20年度の医業収支及び繰入金を除く医業収支は地方公営企業法の全部適用以降に発生する本部経費を除く。	実質的な収支改善額を算出するために16年度まで一般会計で負担していた本部経費を除いて算出したものであることを表記
55頁中段 表中	(表中の数値 別表3)	57頁中段 表中	(表中の数値 別表3)	みなと赤十字病院消費税の取扱の変更などを反映
56頁上段	約8億円の縮減	58頁上段	約16億円の縮減	一般会計繰入金の見直し及び収支計画についての再検討結果等を反映
56頁中段 表中	(表中の数値 別表4)	58頁中段 表中	(表中の数値 別表4)	一般会計繰入金の見直し及び収支計画についての再検討結果等を反映
57頁中段 表中	(表中の数値 別表5)	59頁中段 表中	(表中の数値 別表5)	一般会計繰入金の見直し及び収支計画についての再検討結果等を反映

(注) 網掛け部分が変更箇所

(別表1) 市民病院

	【 中間案 】			【 最終案 】			改善額の主な変更理由
	H16 見込	H20	改善額 H20-H16	H16 見込	H20	改善額 H20-H16	
経常収支	264	71	193	338	44	294	一般会計繰入金の減、H16見込の改善による減
資金収支	607	11	618	594	38	632	
一般会計繰入金	2,637	1,983	654	2,637	1,777	860	がん検診センター繰入金一部委託料化、政策的医療繰入金の減
長期借入金	-	-	-	-	-	-	
計	2,637	1,983	654	2,637	1,777	860	
医業収支	464	255	209	419	261	158	一般会計繰入金の減、H16見込の改善による減 H16見込の改善による減
繰入金を除く医業収支	1,766	1,201	565	1,721	1,168	553	

(別表2) 脳血管医療センター

	【 中間案 】			【 最終案 】			改善額の主な変更理由
	H16 見込	H20	改善額 H20-H16	H16 見込	H20	改善額 H20-H16	
経常収支	2,571	695	1,876	2,571	617	1,954	診療単価の増
資金収支	594	38	632	594	115	709	
一般会計繰入金	2,279	2,929	650	2,279	2,909	630	政策的医療繰入金の減
長期借入金	686	0	686	686	0	686	
計	2,965	2,929	36	2,965	2,909	56	
医業収支	3,698	2,515	1,183	3,698	2,408	1,290	診療単価の増
繰入金を除く医業収支	3,876	2,816	1,060	3,876	2,721	1,155	

(別表3) みなと赤十字病院

	【 中間案 】	【 最終案 】	改善額の主な変更理由
	H20	H20	
経常収支	1,302	1,422	控除対象外消費税の計上
資金収支	73	73	
一般会計繰入金	2,307	1,700	消費税取扱変更などによる減
長期借入金	-	-	
計	2,307	1,700	

(別表4) 病院事業会計

	【 中間案 】			【 最終案 】		
	H16 見込	H20	改善額 H20-H16	H16 見込	H20	改善額 H20-H16
経常収支	2,942	1,926	1,016	2,868	1,995	873
資金収支	437	100	537	450	150	600
一般会計繰入金	7,323	7,219	104	7,323	6,386	937
長期借入金	686	0	686	686	0	686
計	8,009	7,219	790	8,009	6,386	1,623

(別表5) 中期収支計画における主な経営指標
市民病院

	【 中間案 】		【 最終案 】		[H16見込] 最新患者数を反映 [H20] さらなる収支改善に向けた再検討の結果、外 来診療単価を増額
	16見込	20年度	16見込	20年度	
入院	一日平均患者数	540人	540人	550人	540人
	一般病床利用率	90.0%	90.0%	91.7%	90.0%
	入院診療単価	39,715円	41,855円	39,715円	41,855円
外来	一日平均患者数	1,516人	1,380人	1,470人	1,380人
	外来診療単価	8,887円	9,247円	8,887円	9,367円
医業収益に対する人件費率	55.6%	54.9%	55.4%	54.9%	外来単価増と繰入金減額の双方の影響で結果 的にほぼ同率となっている
医業収益に対する材料費率	24.6%	22.7%	24.6%	22.8%	

脳血管医療センター

	【 中間案 】		【 最終案 】		[H16見込] 変動なし [H20] さらなる収支改善に向けた再検討の結果、入 院、外来診療単価を増額
	16見込	20年度	16見込	20年度	
入院	一日平均患者数	268人	276人	268人	276人
	一般病床利用率	89.3%	92.0%	89.3%	92.0%
	入院診療単価	28,598円	32,866円	28,598円	33,656円
外来	一日平均患者数	156人	160人	156人	160人
	外来診療単価	13,931円	8,800円	13,931円	8,932円
医業収益に対する人件費率	100.2%	90.4%	100.2%	88.3%	診療単価の増により医業収益が増加した結 果、人件費率、材料費率が改善
医業収益に対する材料費率	24.1%	13.8%	24.1%	13.3%	